



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2017 **1** 月号
Vol.71
毎月1回発行(通巻71号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

10月16日(日)実施「医療経営士」資格認定試験の合格者を発表
3級試験は過去最高の1433人が受験、657人が合格

医療経営士としての使命を胸に 地域に貢献できる人材を目指そう

一般社団法人日本医療経営実践協会は、11月16日(水)に第19回「医療経営士3級」および第12回「医療経営士2級」資格認定試験(ともに10月16日「日」実施)の合格者を発表した。3級試験は過去最高の1433人が受験し、657人が合格(合格率45.8%)。その結果、累計合格者は7207人となった。今回新たに医療経営士となった方には、明日の医療や地域を支える人材としての活躍が期待される。

第19回「医療経営士3級」資格認定試験

●受験者数・合格率【表1】

受験申込者数1622人のうち1433人が受験(受験率88.3%)し、657人が合格(合格率45.8%)した。その結果、第1~19回までの累計受験者数は1万6138人、累計合格者数は7207人となった。

●年代別構成

「30歳以上39歳以下」が受験者数(509人)、合格者数(237人)ともに最多。合格率は「50歳以上59歳以下」「60歳以上」が50%を超えており、年代が上がるのに比例して高くなる傾向がある。

●男女別構成

男性の受験者数1170人、合格者数555人に対して、女性の受験者数263人、合格者数102人となっており、合格率は47.4%の男性のほうが8.6%高い。

●勤務先別構成【表2】

前回試験に続き、受験者数、合格者数ともに「医療関連企業」がトップ。合格率も58.2%と全体平均を12.4%上回った。「医療関連企業」の受験者数増加の背景には、MRに医療経営士の資格取得を推進している大手製薬企業からの団体

第12回「医療経営士2級」資格認定試験

●受験者数・合格率【表3】

受験申込者数281人のうち253人が受験(受験率90.0%)し、78人が合格(合格率30.8%)した。

数(32人)、合格率(34.0%)すべてにおいてトップ。合格率は「50歳以上59歳以下」が32.1%、「60歳以上」が33.3%となつて

受験がある。一部メディアでこうした動きが報道され、製薬企業にも波及しそうだ。

表1 第19回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第19回試験	第1~19回試験累計
受験者数	1,433人	16,138人
合格者数	657人	7,207人
合格率	45.8%	44.7%

表2 第19回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	287人(20.0%)	140人(21.3%)	48.8%
医療関連企業	483人(33.7%)	281人(42.8%)	58.2%
金融機関	474人(33.1%)	154人(23.4%)	32.5%
大学・短大生	15人(1.0%)	2人(0.3%)	13.3%
その他	174人(12.1%)	80人(12.2%)	46.0%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する

第20回「医療経営士3級」資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

受験エントリー: **1月23日(月)まで**

試験日 **2017年**

受験エントリー期間

3 | 5 日

2016年12月21日(水)~
2017年1月23日(月)

受験料支払締切日
2017年1月25日(水)

受験料 **8,640円(税込)** ※手数料別途

受験資格 年齢、学歴、国籍等の制約はありません

受験会場 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄

出題科目

- ①医療経営史 ②日本の医療政策と地域医療システム ③日本の医療関連法規
- ④病院の仕組み/各種団体、学会の成り立ち ⑤診療科目の歴史と医療技術の進歩
- ⑥日本の医療関連サービス ⑦患者と医療サービス ⑧医療倫理と生命倫理
- ⑨医療に関する最近の動向

同僚や知り合いの方にご紹介ください

受験エントリーは
ホームページから!!

おり、40歳以上は全体平均を上回った。

●男女別構成

男性の受験者数209人、合格者数68人に対して、女性の受験者数44人、合格者数10人となっており、合格率では32.5%の男性のほうが9.8%高くなっている。3級試験と同様、男女でやや開きがある。

●勤務先別構成表4

受験者数は「病医院」「医療関連企業」がほぼ同数であるが、合格者数は「病医院」のほうが17人多い。「病医院」の合格率は全体平均の30.8%より14.7%高かった。過去12回の累計では全体平均の24.6%に対し、「病医院」は26.0%と大きな差は見られないが、本試験においては「病医院」受験者における合格率は突出して高いと言える。

試験結果総評

12月1日現在の正会員数は3751人。今回の試験で新たに657人の合格者が誕生したことにより、2016年度中の正会員数4000人突破が見込まれる。協会では「地域完結型」医療の実現に向けて、当

表3 第12回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第12回試験	第1～12回試験累計
受験者数	253人	2,907人
合格者数	78人	714人
合格率	30.8%	24.6%

表4 第12回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	77人(30.4%)	35人(44.9%)	45.5%
医療関連企業	78人(30.8%)	18人(23.1%)	23.1%
金融機関	69人(27.3%)	14人(17.9%)	20.3%
大学・短大生	0人(-)	0人(-)	-
その他	29人(11.5%)	11人(14.1%)	37.9%

面の目標として医療経営士1万人の育成を目指しており、今後も医療経営士の資質向上をバックアップしていく。今回の合格者を含め、医療経営士は研究会等への積極的な参加を通して、自己研鑽を重ねてほしい。

また、ここ数年毎年1300人前後が受験し、1試験当たりの受験者数が増加傾向にある3級試験に対し、2級試験の受験者数は毎回300人前後、合格者の累計は714人とどまっている。難易度が高く、狭き門ではあるが、医療経営士全体のレベルアップのためにも、より多くの3級資格取得者の2級挑戦が期待される。

支部NEWS

北海道支部

「実践するドラッカー入門」開催

ドラッカーを通して欠けている
マネジメントを意識する

医療経営士×ドラッカーで
病院を変えよう!

北海道支部では11月5日(土)、定例勉強会として「実践するドラッカー入門」を開催しました。講師にはドラッカー学会理事であり、全国でドラッカー読書会などを開催している佐藤等氏(Dサポート株式会社代表取締役会長・佐藤等公認会計士事務所所長)を招きました。

研究会には、「ドラッカー本を読んだことがあるけれど、実践の場でどのように活用するのかわからない」「病院における活用法を知りたい」といった、それぞれの課題や目的を抱えた約30名の参加者が集まりました。

佐藤氏は冒頭、「ドラッカー教授が著書の中で伝えていることは多岐にわたりますが、大事な部分は“言葉は道具である”

ということ」と強調しました。また、「マネジメント＝言葉であり、言葉という道具を使って目的を聞いたり話したりすることが重要で、セルフマネジメントこそがマネジャーのスタートラインである」と説き、後半は、実際に企業で行われているドラッカー読書会などの活用事例を紹介しました。

参加者からは、「わかりやすい話に引き込まれ、まず『経営者の条件』から読みたくなりました。“体系が大切である”“言葉は道具である”は印象的でした」とも良かったです。前々からドラッカーの講義を受けてみたいと思っていた、「言葉は道具」は心に染みしました。「顧客の創造」は前から知っていたのですが、今回あらためて聞いて気づくことがいろいろありました」などの感想が聞かれました。こうした反響を受け、支部内でドラ

ッカー読書会を開催することも検討しています。

北海道支部では、今後も医療の枠を超えた自由な発想を重視し、幅広い知識と人脈が広がる研究会を開催していく予定です。ご期待ください。



参加者の中には医療経営士のほか、介護福祉経営士や栄養経営士の姿もありました



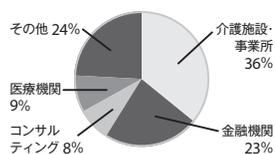
地域包括ケア時代のキーパーソン

「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

医療経営士とW取得者急増中!!

成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。過去11回の「介護福祉経営士2級」試験では1,196人が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在251人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか?

2級合格者の職業別構成 (過去11回試験の累計)



2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



次回試験日程

第12回 2級 2017年 3月5日回

受験申込締切

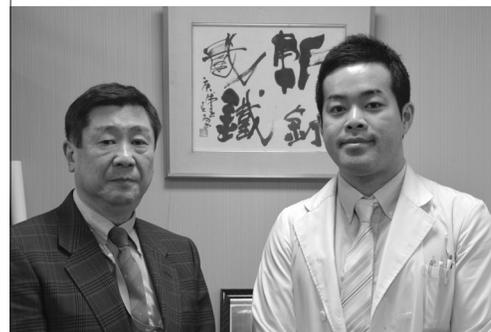
2017年 1月27日(金)まで

特別レポート——紀南病院組合立紀南病院

職員23人が3級試験に合格 病院一丸で経営改善に取り組む

紀南病院組合立紀南病院では、経営人材の育成を目指し、「マネジメントクラブ」を結成。医療経営士の資格取得を目標として掲げ、10月16日(日)実施の第19回3級試験において、23人の職員が合格した。須崎真院長と現場の旗振り役となった森本真之助医師に取り組みの背景をうかがった。

お話をうかがった須崎真院長(左)と森本真之助医師



職員の経営意識を醸成し 経営の安定化を図る

三重県南牟婁郡御浜町にある紀南病院は熊野市、御浜町、紀宝町からなる紀南病院組合立の公立病院である。東紀州医療圏の基幹病院の1つであり、一般140床、地域包括ケア病棟60床、回復期リハビリテーション病棟40床、感染4床の計244床を擁する。同院では、2015年に



マネジメントクラブのメンバー

地域医療構想の策定や地域包括ケアシステムの構築を念頭に病床を再編。慢性期病棟を回復期リハビリテーション病棟へ、一般病床52床を地域包括ケア病床へ転換し、地域で急性期と回復期を担っていく体制にした。翌16年にはヘリポートの設置に加え、広い診療スペースを確保した新本館が稼動し、旧病棟の改修工事も終了。ハード面が整ったところで次の施策として取り組んだのが、経営感覚を持ち合わせた職員の育成である。須崎真院長はその狙いを次のように説明する。

「耐震工事も含めた病棟の改修および新本館の建設により物理的な制約を受けながらの運営となっていた4〜5年間は、患者数が伸び悩んでいました。そのため新体制下で職員の経営意識を醸成し、経営の安定化を図る必要があったのです」

医療経営士3級合格を目標に 「マネジメントクラブ」を結成

同院では以前から経営幹部が講師を務め、一般職員に対して経営状況などを説明する会を開いてきたが、なかなかその真意が伝わらないという課題があった。「幹部職員が話をしても、一般職員には経営の専門用語や医療の法制度に関する知識が少なく、理解が進まないのが原因ではないかと感じていました。当院をよくくじたいという志の高い職員が多いなかで、なんとか職員一丸となって経営に携わってほしいと考えていました」と、内科医の森本真之助医師は当時を振り返る。そこで、森本医師と医事課の正寄直樹課長が着目したのが医療経営士である。まず、経営に関心のある職員に広く声をかけ、経営改善を目的とした「マネジメントクラブ」を結成し、クラブの最初の目標として医療経営士3級合格を掲げた。

「マネジメントクラブが立ち上がり、医療経営士の試験合格を目指して以来、職員が経営について話す機会が増えていきます。また、医療専門職は自分の医療行為が経営とどのように結びついているのかを実感できるようにになりました。今後は職員から経営に関してさまざまな提案が上がってくることを期待しています(須崎院長)」

紀南病院 合格者の声

経営を理解し、地域に貢献できる人材を目指す

積極的な提案や活動を通し
リハビリ機能を充実させたい

津呂橋 優さん
リハビリテーション科技師長

医療経営士のことは、当院で行った長英一郎先生の勉強会で初めて知りました。それまでは自分の専門分野にしか興味がありませんでしたが、今後の医療政策に対応するためにはもっと幅広い知識が不可欠だと感じ、当院の森本医師のチャレンジ魂にも影響を受けて資格取得を決めました。

受験に向けた学習では、医療制度や政策動向が特に勉強になりました。当院の現状や今後の大まかな方向性を知ることができ、部署のプラン作成にも役立つと考えています。

医療経営において最低限必要な知識を得ることが当面の目標です。その上でリハビリテーションの提供体制の充実につながる提案や活動を行い、予防期、急性期、回復期、維持期それぞれにおいて地域のニーズに合った質の高いサービスが提供できるように努めたいと思います。

地域住民が安心できる
医療提供体制の確立を目指して

根本保正さん
看護部・感染対策室主任 感染管理認定看護師

き地の拠点病院である当院が地域医療構想のなかでどのような立場にあり、今後、地域住民が安心できる医療提供体制をどのように確立すべきなのか、長英一郎先生の講演を聴いて強く意識するようになりました。医療経営士の資格取得を決めたのは、国が描く医療政策の方向性を学ぶいい機会になると考えたからです。

感染管理業務を行っているため、法令・告示・通知をよく確認します。受験に向けた勉強でその仕組みと確認方法が理解できたことは今後の業務に役立つでしょう。また、当院所在地の都道府県医療計画については、具体的な内容を合わせて調べました。

病院を支える一人として、医療法や診療報酬に関する知識は最低限必要です。今後も感染管理を中心に地域連携を深め、今ある業務を超えた活動ができるように切磋琢磨していきたいです。

職員が生き生きと働ける
環境づくりに邁進する!

大久保 豊さん
管理課管理課長

これまで医療経営に関する知識は独学で身につけてきたため、一度は体系的に学びたいと思っていたところ、院内で医療経営士の受験者を募っていることを知り、チャレンジすることにしました。資格取得に向けた学習の過程で医療法に基づく人員配置基準が理解できたことは、とても有意義だったと思っています。以前からその存在自体は知っていましたが、各病棟や医療施設ごとの細かい区分けやルールまでは把握できていませんでした。

今後の目標は、患者さんが受けたサービスに対して納得して医療費を支払っていただける環境を整備していくことです。同時に患者さんと直に接する援助者(病院スタッフ)が生き生きと働ける職場環境を整えていきたいです。満足度の高い職場環境は良質な患者サービスを生み出します。結果として当院の経営力向上につながっていくでしょう。

事務局 掲 示 板

～ 日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第20回「医療経営士3級」
資格認定試験のエントリー開始

2017年3月5日(日)に実施する第20回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーを開始しました。エントリーの締切は1月23日(月)。

職場に受験者が複数いる場合は団体受験の申込を付けており、受験料の請求、受験結果通知、合格証は受験者全員分を団体担当者に送付します。

すでに本協会会員の方は、それぞれの所属先で試験のご案内をお願いいたします。

本紙『MMS NEWS』を活用して
医療経営士の認知度アップにご協力ください

会員サービスの一環として毎月発行している『MMS NEWS』を活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力いただける会員の方を募集しております。職場やお取引先へ『MMS NEWS』をお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としてもご利用いただけます。

配布用の『MMS NEWS』をご希望の方は、下記アドレスへ「MMS NEWS希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数(調整させていただく場合がございます)をご連絡ください。

皆様のご応募をお待ちしております。

お申し込み▶E-mail: info@jmmpa.jp

支部活動に参加してレベルアップを図ろう!

PICK UP 研究会

1/21 東海支部

第5回静岡県東部医療経営研究会
医療と介護の連携について(ダブル改定に備えて)

東海支部は、第5回静岡県東部医療経営研究会「医療と介護の連携について(ダブル改定に備えて)」を開催する。岡村記念病院総務部主任の下山智則氏(医療経営士2級)、静岡市立静岡病院医事課の小林恵美子氏(医療経営士3級)ら5人が講師を務め、それぞれ「第5回医療経営士実践研究大会:名古屋大会に参加して」「医療と介護の連携・地域包括ケア病棟の開設から運営まで」などをテーマに講演する。

- 日時 1月21日(土)
- 会場 三島信用金庫本部(静岡県駿東郡)
- 参加費 無料
- 問い合わせ先 岡村記念病院地域連携室内研究会事務局 TEL:055-973-3221

1/26 九州支部後援

経営企画と広報を考える会 1日目(全4回)

株式会社日本医療企画は、九州支部後援のセミナー「経営企画と広報を考える会」を全4回で開催する。講師は1～2日目を飯塚病院企画管理課・課長の萱嶋誠氏と同病院広報室・室長の久保田委美氏、3～4日目を製鉄記念八幡病院経営企画室・係長の秋吉裕美氏が務める。セミナーでは、女性患者獲得や職員の意識改革などに成功した飯塚病院と製鉄記念八幡病院の事例をもとに、経営企画と連動した広報戦略について学ぶ。

- 日時 1月26日(木)18:00～20:00/2月23日(木)18:00～20:00/3月25日(土)14:00～16:00/4月22日(土)14:00～16:00
- 会場 日本医療企画九州支社セミナールーム(福岡県福岡市)
- 参加費(税込) 単回参加8,000円/全4回参加30,000円
- 問い合わせ先 日本医療企画九州支社(担当:杉安) TEL:092-418-2828

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
1月20日(金)	北海道	社会保障ゼミ 第3回(全4回) ※第4回2月17日(金)	神内秀之介氏(社会福祉法人溪仁会法人本部事業推進部次長)
1月21日(土)	関東	第4回埼玉研究会 現場リーダーのためのホスピタリティ目標管理術	小川卓氏(医療法人財団献心会川越胃腸病院総務部長・医療サービス対応事務局)
	東海	第5回静岡県東部医療経営研究会 医療と介護の連携について(ダブル改定に備えて)	下山智則氏(岡村記念病院企画総務部主任) / 小林恵美子氏(静岡市立静岡病院医事課) / 松川達也氏(伊豆箱根鉄道株式会社エミーズ東門門施設長) / 大谷貴美子氏(有料老人ホーム青空施設長) / 田中賢司氏(岡村記念病院事務部長)
	九州	南九州支局研究会 地域医療構想本格化に向け、医療機関が取るべき戦略	高田昌美氏(医療法人玉昌会理事長、日本医療経営実践協会九州支部南九州支局長) / 西日本シティ銀行担当者
1月26日(木)	九州 (主催:日本医療企画)	経営企画と広報を考える会 1日目(全4回)	萱嶋誠氏(飯塚病院企画管理課・課長) / 久保田委美氏(飯塚病院広報室・室長)
1月28日(土)	九州 (主催:日本医療企画)	医療広報塾 1日目(全4回)	水内純清氏(元・読売新聞社会部、整理部記者、元スポーツ報知編集部長、元・社会医療法人天神会・古賀病院グループ広報部長 [久留米市]、東アジア日本語教育・日本文化研究会副会長 [文学博士])
2月18日(土)	関西	坪ゼミ「現場の問題解決法～科学的問題解決とカイゼンの実際～」(仮・全4回)	坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページをご確認ください

協力団体 セミナーのご案内

30年同時改定に向けた病院の再編統合戦略

～地域医療連携推進法人、29年度税制改正、医療法改正政省令をふまえ～

開催日	2017年1月14日(土) 13:55～16:30
会場	リアル会議室ANNEX (東京都品川区西五反田1-3-8 五反田御幸ビル2階)
参加費(税込)	・医療経営士会員 5,000円 ・一般 8,000円
定員	90人 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
共催	株式会社 日本医療企画 社会・特定医療法人協議会 株式会社 日医リース

プログラム

- 講演① 補助金を活用した病院の省エネ化について
●株式会社日医リース 執行役員 営業企画部長 高山 浩氏
- 講演② 「医療介護トピック」 ●東日本税理士法人 代表社員 長 英一郎氏
- 講演③ 「地域医療連携推進法人第1号を目指す山形県酒田市の事例」
●日本海総合病院 地域医療連携推進法人プロジェクトリーダー 佐藤 俊男氏